

## 平成 25 年度ジャーナル企画経営委員会議事録（第二回）

公益社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 25 年 9 月 3 日（火）  
午前 10 時 00 分から 12 時 00 分
2. 開催場所 品川インターシティ ホール棟 地下 1 階 会議室 1  
（東京都港区港南 2 丁目 15-4）

3. 議長 委員長 川幡穂高

### 4. 出席委員

委員長 川幡穂高

委員 津田敏隆

委員 木村 学

委員 小田啓邦

委員 小原一成

### 5. 議題

#### (1) ジャーナル企画経営委員会および編集会議の議事録

第一回ジャーナル企画経営委員会（7 月 2 日）および第一回から第四回ジャーナル編集長会議の議事録を確認した。

#### (2) 「Progress in Earth and Planetary Science」の表紙案

第四回ジャーナル編集長会議で選定した表紙案を改訂したデザインを元に審議した。2 のデザイン案を改訂することとした。「PEPS」という愛称については、飲料のペプシとは異なると考えられるが、名称「JpGU」の時と同様、鈴木弁護士に相談して、特許庁に登録をすることとなった。

#### (3) Springer へ伝えた出版要項の概要

これまでのジャーナル編集長会議で作成し Springer へ提出した出版要項を報告した。

Editorial Board, Editorial Advisory Board, Steering and Planning Committee のリスト等も含め、確認した。ジャーナルの特徴を示す専門分野の語句については、不十分であることが指摘された。そこで、どのようにすれば、SPRINGER に専門分野追加時に語句を加えることができるか、問い合わせるとともに、日本地球惑星科学連合の HP のジャーナルの

サイトを立ち上げる時に、科学研究費補助金のキーワードなどを参考に、「Progress in Earth and Planetary Science」が扱う分野を表示することとなった。

(4) ジャーナルに関するスケジュールについて

ジャーナル創刊に関する現状と今後のスケジュールが報告され、確認した。現在は投稿規程の作成など、ジャーナル投稿受付開始とシステムの立ち上げに向けて最終的な段階にある。10月初めに投稿開始を予定している。また、創刊号より impact factor がつくようにトムソンロイターにも問い合わせしておくこととなった。

(5) 予算執行状況

これまでの予算執行状況の報告があり、承認した。また各種手数料等諸経費を執行するため、「14. その他諸経費」として科目を設けることを承認した。本年度は初年度であるため、予算執行の開始が遅れていることもあり、編集長が国際学会（例えば、AGU）などに参加して、雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」の promotion をするとか、編集会議にオブザーバー参加をするとか、国際誌の発展の動向調査など雑誌の発展のための作業をする場合には、旅費の支援をすることとなった。但し、その活動に見合った支出の方が合理的との観点から、全額でなく、部分額の援助が適当との見解に達した。

(6) ジャーナルに関するホームページの運営

ジャーナルの存在の告知や投稿を促進する等の目的のため、ジャーナルのホームページを作成し運営することが審議され、承認した。今後掲載する情報を検討し、ホームページ作成・運営業者から見積もりをとる。

(7) 第一回ジャーナル関連特別セッション推進公募結果

本年度（2013 年度）を対象とした「第一回ジャーナル関連特別セッション推進公募」に対し応募が二件あった。案件 1、案件 2 共に著者一人当たり 250,000 円ずつの支援として支援を承認した。

- ・案件 1 名称：International CAWSES-II symposium

日時：11 月 18 日(月)～23 日 (土)

場所：名古屋大学

支援額：1,500,000 円 (250,000 円×6 名)

- ・案件 2 名称：日本学術会議国際シンポジウム 増大する災害と地球環境問題に地球人間科学はどう取り組むか

日時：12 月 5(木)

場所：日本学術会議講堂

支援額：1,000,000円（250,000円×4名）

引き続き、9月末締め切りとして「第二回ジャーナル関連特別セッション推進公募」を行うこととなった。

(8) 来年度（2014年度）を対象とした「ジャーナル関連特別セッション推進公募」

セッション提案も開始されたので、来年度（2014年度）を対象とした「ジャーナル関連特別セッション推進公募」を行うこととなった。本年度分の公募と誤解しないような注意が必要との指摘があった。「ジャーナル関連特別セッション推進」をより充実したものにするため、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）とともに、大きな発展が期待されるな JpGU 本体の予算も投入していくことも検討することとなった。なお、来年度、「ジャーナル関連特別セッション」を開催した場合には、「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）による促進」であることがわかるような表示をする。これは、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の申請時の書類にも要請されていたことである。具体的にどのような表示が適当かを検討することとなった。

(9) ジャーナルセッション

本年度、ユニオンセッションとして「ジャーナル」を扱ったセッションを開催したが、来年度は雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」の出版も開始されているので、さらに深い議論や発展するための方策などを議論するセッションを開催することとなった。

(10) EPS 運営委員会へのオブザーバーの派遣

JpGU からは、財務関係の西弘嗣理事、北 和之理事を推薦した。また、水関係の学会より非公式に雑誌に関する情報の問い合わせがあったので、そのグループから雑誌の運営等さまざまな問題について考えていただくためにオブザーバーをお願いすることも検討したらよいのではないか、ということになった。

(11) 日本人の研究成果の再評価促進について

日本人の研究成果に対して日本人同士の評価が十分でないという問題が提起され、議論された。10月28日に開催予定の学協会長会議においてこうした議論があることを紹介し、日本人の研究成果の再評価を促進していくこととした。

以上